

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成22年度第24回（定例会）

署名人 田端温代

委員長 城間勝

開催日時 平成23年3月17日（木）

開会 午前10時00分

閉会 午前12時00分

開催場所 那覇市教育委員会 第1会議室

出席委員 城間勝委員長、田端温代委員、金城眞徳委員、城間幹子教育長

議事日程

- 報 告 特別支援教育を要する幼児児童生徒の就学先について
- 報 告 那覇市における学校事務共同実施の導入について（以上学校教育課）
- 報 告 平成22年度那覇市一般会計補正予算（2月補正）の確定について
- 報 告 平成23年度那覇市一般会計予算の確定について
- 報 告 平成22年度那覇市長賞並びに那覇市教育長賞について（以上総務課）

（以下非公開）

- 報 告 平成23年度県費負担教職員（一般）の定期人事異動について（学校教育課）
- 議案第52号 職員人事（指導主事管理職退職）について
- 報 告 職員人事（指導主事採用）に関する教育長の専決について
- 議案第53号 職員人事（管理職定期異動）について（以上総務課）

出席職員

新城和範生涯学習部長、盛島明秀学校教育部長、佐久川馨生涯学習部副部長
屋良朝秀学校教育部副部長、東恩納隆栄総務課長、吉野剛学校教育課長
根間秀夫総務課副参事、松田敦子学校教育課指導主事、崎山嗣一郎学校教育課主査
屋良幸広総務課主査、平良美夏総務課主査、仲宗根司総務課主査、粟森俊司学校教育課主任主事

会議録作成 仲間稔総務課主査

城間委員長 ただいまから平成２２年度第２４回教育委員会会議定例会を開催いたします。本日の会議録署名は田端委員にお願いいたします。本日の日程に入る前に東日本大震災の取組みについて、那覇市の小中学校、那覇市での取組みがありましたら説明をお願いします。

吉野課長 ３月１１日に地震、津波があり、大変な被害があるとニュースで知りましたが、土曜日、日曜日とあけまして、月曜日の朝、教育長の方から何らかの形で校長先生方を集めて話をする必要があるのではないかとということがありましたので、３月１５日に臨時校長会を行いました。その中で委員会からも提案事項を出して、またそれぞれの学校長の意見等も聞きながら、それを統一した取組みができないかということで行いました。委員会の提案事項として、募金活動の内容について、これまでのやり方とは形を変えて、これまで個人対象にしていたのが、家族単位、PTA 単位にした方がいいとか、期間も年度末だけではなく、新年度も引き続いてやった方がいいとか、主催は児童会、生徒会だけではなくて、各学年、学級、個人でいろんな方法が考えられる、そういった募金活動をやってはどうかというのが１点目。２つ目に被災地の児童生徒を励ます意味で応援メッセージというのを手紙や CD で作成するというので提案しました。３つ目に痛みを分かち合うということで、現地では食料も電気もない状態なので、こちらでも節水、節電を心がけよう。また痛みを分かち合うということだけではなくて、そのことで蓄えたエネルギーを向こうに転用できるのかということも考えて、子ども達へ節水、節電を呼びかけること。そして物を大事に使う意識を高めるということも含めて、こういうことを全体集会、道徳の授業等の中で、全学校でそれは取組んではどうかということを提案しましたが、内容については各学校でどのようにやるかそれぞれで考えてやるシステムということを提案しました。既に取組んでいる学校もありました。ある学校では地震の様子すべての新聞の記事を廊下に貼って、子ども達に被害の様子、意識を高めることを含めてやっている。もしその学校に津波がきたらどうするか。またはできることは何かといったことのアンケートを実施するというものもありました。またメッセージを DVD にして送るということ。生徒会独自で募金活動をやっている学校も既にありました。そこで委員会の提案をさせてもらって、それぞれでやっている学校のものも含めて全体で小学校も中学校もどの学校も取組んでいこうと確認しました。最後に、この津波時において那覇市の小中学校においていろんな避難等のお知らせを出しましたが、それについても課題等がいくつかありましたので、これについてまとめてみました。まず保護者との連絡が取れないということがありましたので、連絡を取りやすいメールであるとか、そういう勧誘を促進を図っていった方がいいということ。幼稚園についてはそういう連絡がないということで、こどもみらい部との連携をもっと取った方がいいということ。あのクラスの地震がきた場合、那覇市の学校の校舎の耐震性は、どの学校がどうということを那覇市は把握していた方がよいのではということ。緊急時の放送で、学校の放送、校舎だけではなくて、地域の自治会、公民館でも放送ができるようにこちらからの連携が必要

といったようなことがありました。一応どの学校もそれなりの取組みを始めている様子でした。学校教育課からは以上です。

新城部長

私の方からは生涯学習部だけではなく、市の全庁的な取組みについての対策を説明します。昨日この災害に関しての記者会見がありました、それにあたって各部各課のそれぞれの対策案を申し上げます。総務部は災害ボランティア募集及び派遣、救援物資の提供をすること。市長は2千名規模のボランティアを募って、そこへ派遣できないかというようなことを示していますが、それについては総務部が中心となります。企画財務部はボランティアの対応。市民文化部は行政機能復旧に向けての職員の派遣、被災者に関連する総合相談窓口の設置、募金箱の設置、施設使用料の減免です。経済観光部は義援金の募集、職員の派遣。環境部はごみ収集運搬等の支援。健康福祉部は職員の派遣。これは災害支援担当、生活相談員、ケースワーカー、介護ケアプランナー、手話通訳等の派遣ができないか。こどもみらい部は被災地の子ども達の保育環境の整備ができないか。都市計画部は技術職職員の派遣。建設管理部は被災者用市営住宅の提供、技術職職員の派遣。消防本部は既に派遣していることですが、14名の消防職員と3台の特殊車両を派遣したところです。生涯学習部については保健師が1名いますので、その保健師の派遣。いろいろケアが必要という場合がありますのでその派遣を予定しております。要請が公式にあった場合には派遣するということになっています。学校教育部は先ほど説明あった通りです。上下水道局は被災地への応急給水の対応。被害状況調査のための人を派遣したいという、それぞれの案が出て、いま那覇市としては取組んでいるという状態です。

城間委員長

部長からありましたが、全庁的な個々の取組みがスタートしているようですが、毎日ニュースで映像が流れていますが、あれを見ると簡単ではないという気がしますが、早い復興ができるように、我々にできることはしていきたいと思っております。

それでは本日の日程に入っていきます。報告「特別支援教育を要する幼児児童生徒の就学先について」について説明をお願いします。

盛島部長

報告理由説明

吉野課長

説明

城間委員長

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

金城委員

年度ごとに申請者数が増えているということは、児童生徒に何か原因があるのでしょうか。それとただ人口増でしょうか。それともう1つ。それ以外にまた支援学校にいけない身体、それから精神的な疾患でいけない子どもたちも合わせると、これは大変な数字に上がると思いますが、いかがでしょうか。

松田指導主事

まず、数が増えていくことですが、やはり各学校で先生方の見立てがより具体的になったということが、まず1点目だと思います。チェックリストがありますので、その辺のチェックをしていきながら先生方はその子たちの様子、実態を見立てていくんですが、そういった教師側の見方が細くなったというのは言えると思います。今回、支援学校と認定が出て支援学校へそのまま行く児童生徒が33名で、公立の小中学校

に留まりたいといったお子さんは16名います。その子たちは認定就学児ということで各小中学校にお世話になりますが、どうしても保護者の要望が強く、その子どもの実態を受け入れられない。そこまで心理面がどうしても保護者だと難しいといった、そういうような部分があり、その辺は認定就学の巡回をしておりますので、その認定就学巡回の指導員の先生方と連携をとりながら少しずつ保護者へ親身になって受け入れの方を少しずつ広げていくような形で、こちらの方としては指導、助言をしています。そのおかげで今年度新たに3名のお子さんが、次年度から支援学校へ行きたいといった形で動いているのは事実なので、そういった巡回の先生方をうまく活用していきながら保護者の声に耳を傾けながら進めていきたいと考えております。

盛島部長

いま説明ありましたが、就学指導委員会の方から、例えば特別支援学級、あるいは特別支援学校という判定があって、そのとおり通学すれば大きな課題はないと思いますが、いまのように認定されても通常学級に戻ったり、あるいは特別支援学級へ行くなど、かなり厳しいというのが現状です。それから特別支援学級はどう判定するかということで、今回72名が通常学級に行くわけですが、やはり、これも指導には苦勞する、厳しい面があります。ですから、なかなかそのとおり就学しないお子さん達をどう対応していくかというのは、教育委員会としては100名を超えますので、そういうお子さん達が指導、課題があるというのが現状です。

城間委員長

巡回というのは、学校からの要請に対して専門の人を派遣するということを巡回といえますよね。

松田指導主事

はい、それもありますし、認定の場合は特別支援学校を退職された先生方を定期的に派遣していきます。

城間委員長

よろしいでしょうか。それでは、報告「特別支援教育を要する幼児児童生徒の就学先について」報告を了承したいと思います。続きまして、報告「那覇市における学校事務共同実施の導入について」説明をお願いします。

盛島部長

報告理由説明

吉野課長

説明

城間委員長

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

金城委員

いま各学校に配置されている事務職員を減らして、新しく寄宮中学校に事務を置いて補佐を2人つけて、その事務は17中学校全体の事務をみるということでよろしいですか。

吉野課長

そういうことではなく、それぞれの学校の方で事務をやり、週に1回、半日、他の地区は水曜日の午前中に研究という形で集まって、それぞれの仕事をその中で出して互いでチェックするとか、そういったことを中でやっていきます。これまではそういうことをやらないで事務所を通してやりますが、結局、戻されることもあり、そういうことを少なくなるだろうということもありますし、事務の中ではベテラン、新任もいますので、そういう中でお互いのレベルアップにも繋がると思います。減らすということではありません。

- 城間委員長 最終的には教育事務所で点検して決裁というか、将来的には事務所と関係なく、最終決裁を那覇市教育委員会とか、学校長の判断で、向こうまで処理に行かないで済むように権限の委譲ということはあるのでしょうか。
- 城間教育長 那覇市が中核市になるということで、この事務の委譲等々はこちらへ来ませんので、その辺りをどう捉えていくかというのは課題事項として残っていくと思います。那覇市で完結していいものが出てくるのか。いま表立っては項目として出てはないですが将来的に中核市となった場合には、教育委員会の権限が広がるのか。どこまでになるのかというのは、我々はまだ勉強中ですので、先進県等々から情報をもらって、人事権に関しては県にお願いしますので、那覇市採用の教員というのはいまの特別の小中一貫教育以外はありませんので、その辺りを調整していきたいと思います。
- 城間委員長 3 ページで学校事務コーディネーターの選任が那覇市2名、浦添市2名とありますが、那覇市の2人はどこに配属されるのでしょうか。
- 吉野課長 その学校に前と同じような形でおります。今回コーディネーターの予定は壺屋小学校と小禄中学校、その2校に就くことになりますが、その方々が今回、実験的にやる場所のいろんな事務の企画をしたり、研究したいものを中で指導していく立場になると思います。
- 城間委員長 加配になると思いました。
- 吉野課長 コーディネーターは拠点校に加配が1人です。補足ですが、前回の教育委員会議でなぜ寄宮中学校とこの地域なのかということがありましたが、確認したところ、事務の方で公募で募集をかけたそうです。その中で事務の協会の方から寄宮中の方が一番ということを受けて、その方に内諾をとって、あとで学校長の方には事務所の方から連絡を入れる、そういう形での拠点校になったということでした。
- 田端委員 この事務に関して、学校教育課から説明がありましたが、こちらの仕事なのかと思いました。総務又は別の部署がやるべきではないかと思いますがいかがでしょうか。
- 城間教育長 教育委員会内でもどこが取るかと話がありましたが、那覇教育事務所とやり取りをしているのは学校教育課です。そういった意味で取りましたが、今後それが平成24年度から全市的に導入されるとなった場合には、改めてどこの部署が管轄になるのか検討したいと思います。学校の事務は、派遣等や任命、県費など、各課に混在しています。いま那覇教育事務所からの通知でしたので、パイプのある学校教育課の方で受けているということです。その辺りはおっしゃるように課題です。
- 城間委員長 今後検討し適切な課にもって行ってほしいと思います。それでは、報告「那覇市における学校事務共同実施の導入について」報告を了承したいと思います。続きまして、報告「平成22年度那覇市一般会計補正予算（2月補正）の確定について」説明をお願いします。
- 新城部長 報告理由説明
- 東恩納課長 説明
- 城間委員長 この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

- 田端委員 1 ページの2 番目に「借用校地購入に伴う減額要求を上回る減額」とありますが、これは土地代が想定よりもっと安くなったということですか。
- 東恩納課長 当初、買い上げ実績が減り減額をしていましたが、さらに財政課と調整して、これも減額でいだろうということで減額を増やして査定されているということです。
- 新城部長 減額ばかりが目につきますので、どういったものがあるか改めてご説明いたします。3 ページの番号2 7、2 8、2 9、これは財源が確保できたということ。交付金ですが、きめ細かな交付金事業ということで、この3 つの事業についてお示ししている数字で増額補正となっています。このことについては執行年度が終わりますので、次年度へ繰り越した形で向こう1 年間で執行するということになります。このことについては非常によかったと思っております。中には前倒しということもありますが、早め実施ができますので良いと思います。
- 金城委員 査定結果の1 4 番「施設維持管理費」はもっと節約しなさいということでの減額査定なのでしょうか。
- 東恩納課長 こちらの事業につきましては増額を要求しておりまして、4 8 4 万9,0 0 0 円の増額を要求しているところを3 3 9 万1,0 0 0 円と少し抑えられて増額が認められたということで、3 月分の光熱水費はこれだけでなんとかなるでしょうということです。
- 城間委員長 減額されて困るということではないわけですね。だいたい3 月までこういう実績だろうということですね。
- 東恩納課長 3 月分の実績がございますので、財政課と調整してこれぐらいでいけるということであります。
- 城間委員長 それでは、報告「平成2 2 年度那覇市一般会計補正予算（2 月補正）の確定について」報告を了承したいと思います。続きまして、報告「平成2 3 年度那覇市一般会計予算の確定について」説明をお願いします。
- 新城部長 報告理由説明
- 東恩納課長 説明
- 城間委員長 この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。
- 査定率の9 8.3 というのは高い方なのか。あるいは行政部局と比べて教育部局の9 8.3 というのは認められた査定ですか。去年と比べたらどうですか。
- 東恩納課長 去年まで主に枠配で決めるというスタイルが5、6 年続いていましたので、だいたい要求の段階である程度決まってしまうということです。平成2 3 年度におきましては、その枠配の前の状態に戻って、事業ごとに細かく財政課が査定をしていくスタイルに変わり、比較がしにくいと思います。今回は、元の枠配で決めている予算の以前の状態に戻りましたので、以前の査定の雰囲気、状況と比較しますと9 8.3 %付いていることについては概ね認められているという感じを受けています。
- 田端委員 たくさんの数字を見て戸惑っていますが、ここに着目してくださいとか、そういった部分がありましたら教えてください。

新城部長

相対的な数字ということでお手元に配布した資料ですけれども、平成22年度、今年度の当初予算と、それから来年度、平成23年度の当初予算の比較が出てきています。今年度は157億9,500万円です。それから来年度は128億4,200万円となっており、その差が出てきていますが、これは投資的な経費ということで、例えば天久小学校の用地買収も済みました。あるいは改築の学校分もありました。そういったところの大きな数字が落ちたということで、やはりハード面でこのようになっています。そして、着目点ですが、ソフト事業に関して言えば、市長に対して教育委員会からそういった事業については重点的につけて頂きたいというようなお願いをした意見書があり、例えば小中一貫教育関連、特別支援教育関連、セルラースタジアム関連、学校安全対策関連、牧志駅前ほしぞら公民館図書館、学力向上対策関連、学校備品等整備関連、文化財関連ということで意見書が出ています。優先的に要求した事業があり、3ページ、4ページの一覧に載っている部分、そこを注目していただければいいと思います。

田端委員

市の財政難なところからこれだけ努力していただいていると思いますが「国づくりは人づくり」ということもありますし、ぜひ、教育にお金をかけていただきたいということを財政担当へ伝えてほしいと思います。もう1点ですが、122番に県外派遣旅費補助金がありますが、最近、那覇市の子ども達がずいぶん県外へ派遣されていますが、子ども達が活躍することによって那覇市の私たちのような年齢のものであるとか、やはり市民全体の安心感であったり、幸せ感をもったりすると思います。やはり子どもが元気に活躍する場面をたくさん作っていただく、それを応援する大人たちのネットワークも大事だと思いますので、ぜひ努力していただきたいと思います。

新城部長

子ども達の派遣に関してですが、先ほど終えた2月補正の中で200万円を要求して200万円が付いているということで、これは手厚く補助してもらっているということです。来年度についても、おそらくそういった機会があれば補正予算要求の中で措置してもらえんと思います。

盛島部長

今回、教育委員会全体で、特に学校教育部は要求通り査定されていると感じていますが、特に3ページの特別支援教育のヘルパーにつきましてはずいぶん増員させていただきましたし、当初予算ベースでいけば、実は12名の増でヘルパー62名へ充実ということです。それから従来、特別支援については指導主事を中心にやっていますが、新たに非常勤で臨床心理士2名を雇用し、3名体制で特別支援教育を充実させるという意味で手厚く予算措置をしてもらっています。それから、学校安心安全支援員も平成17年度から無くなっていた小学校のプール安全管理、衛生管理を中心とした指導員、合わせて登下校の指導ということで安全を中心にしっかり支援をしていこうということで復活しました。これも学校の支援にとっては非常に大きな要因になります。こういったところが新たに学校教育部で学校支援を十分にやっていけるという体制ができたということで評価できる部分です。

- 新城部長 生涯学習部関係で、4ページに優先度の高い事業のリストがあって、市民スポーツ課と、中央図書館があります。奥武山球場のグレア対策事業。グレアというのは、まぶしさという意味です。ナイターの試合がある際、那覇港に入港してくる船舶がまぶしいということがあり、安全対策の一環として今回1,100万円余りの予算が付いたということです。これは近々内容についても検討を重ねながら実施していきたいと思っています。それから奥武山球場の資料館。これも2月補正で550万円余りです。これは興南高校の春夏連覇という偉業、これをある意味で称える、あるいは記念するという意味で映像を作成します。そして、その分だけ市民はいつでも見ることができるというふうな映像作品を作りまして、それを公開していきたいということです。中央図書館については、これも2月補正ですが、これだけの金額でいろいろ資料を購入することができるという前向きな利用ということです。
- 城間委員長 先ほど派遣の話がありましたが、那覇市においては、片道の航空費の2分の1、宿泊も1泊の2分の1ですが、浦添市や宜野湾市など他の大きな市の補助割合といいたいでしょうか、全額補助しているところはありますか。わかりましたらお願いします。
- 吉野課長 先に那覇市の場合を説明しますと、これまでの予算の中で昨年度までは補正を取らないでも大丈夫でした。ところが、去年は子ども達の活躍が非常に目覚しく、特に文科系の音楽関係、そういう団体の活躍が増えたので増額補正を12月、そして2月に200万円、あるいは100万円ということで出しました。他の市についての把握はしておりませんが、宿泊に関しては同じ形の2分の1となっています。
- 盛島部長 浦添市は県内で手厚く補助しているところですが、あちらは航空運賃については全額補助です。ただ派遣費すべてを全額ということではなく、航空運賃については全額で、ですからトータルで確か2,000万円近くあるということです。
- 城間委員長 本人の成長にも繋がりますので、全部が全部というのはどうかと思いますので、可能なかぎり個人から出るお金は少なくなるように、可能なかぎり100%近い金額が補助できればいいと思います。
- 田端委員 派遣に関して、親御さんもその資金を捻出するために、PTAの活動が活性化したりということで、親御さんとPTAが一生懸命に資金運営してご苦労なさることもある意味とてもいいことだと思います。それから、167番に子ども会への予算があります。が、年間46万円だけでは事務局費を賄えないような気がしますでしょうか。
- 盛島部長 子ども会についてはよく把握してないところがありますが、これは補助金という形で、その事務局へ青年団もそうですが、補助金ということで交付していますので、どういうふうな活用をしているかという細かい部分は見えていません。ただ、確かに青年団もそうですが、青年団は153万円あり、それで青年祭をやったりいろいろ頑張っているみたいです。細かく調べておきます。
- 田端委員 家庭的に恵まれない子ども達がたくさんいますので、なんとか子ども会を活発にしていきたいと思うので、その辺りの支援を少し広げていただけたらと思います。

城間委員長 それでは、報告「平成２３年度那覇市一般会計予算の確定について」報告を了承したいと思います。続きまして、報告「平成２２年度那覇市長賞並びに那覇市教育長賞について」説明をお願いします。

新城部長 報告理由説明

東恩納課長 説明

城間委員長 この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

田端委員 市長賞を受賞されるのは、那覇市全体で３４名、教育委員会の皆さんが６人いらっしゃいますが、推薦していただいております。

城間委員長 教育長賞と市長賞をダブルで取ることもできるのですか。

東恩納課長 ダブルでの受賞は避けております。基本的には、教育長賞と市長賞の場合は、市長賞の方が全体の表彰ですので、まず市長賞の表彰を決め、それから教育長賞を決めます。また、市長賞の方は概ね定数に応じて、だいたい１％ぐらい数の大枠ということで、多少増減しますが、該当した場合にはそういった感じで推薦します。

城間委員長 受賞された皆様、おめでとうございます。それでは報告「平成２２年度那覇市長賞並びに那覇市教育長賞について」報告を了承したいと思います。続きまして、議案第５２号、５３号、報告「平成２３年度県費負担教職員（一般）の定期人事異動について」及び報告「職員人事（指導主事採用）に関する教育長の専決について」に関しては、人事に関する議案のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第６項」を適用し、非公開とすることが適当であると思われますので、その可否について委員の議決を図りたいと思います。

全 員 異議なし

城間委員長 議決により非公開としますので、関係者以外は退席をお願いします。

～ 非公開 ～

城間委員長 非公開を解きます。議案第５２号、５３号については議決確定し、報告「平成２３年度県費負担教職員（一般）の定期人事異動について」及び報告「職員人事（指導主事採用）に関する教育長の専決について」は了承します。

以上をもちまして、平成２２年度第２４回教育委員会会議定例会を終了します。